

近畿大学医学部 最後の一題

問題

1辺の長さが1の正五角形 ABCDE において、 $\overline{AB} = \vec{a}$ 、 $\overline{AE} = \vec{b}$ とし、対角線の長さを x とする。
各対角線は5つの辺のうちどれかと平行である。

(1) $BD = x$ より \overline{AD} を \vec{a} 、 \vec{b} 、 x で表すと $\overline{AD} = \boxed{\text{ア}} \vec{a} + x \vec{b}$ であり、 $BE = x$ より内積 $\vec{a} \cdot \vec{b}$ を x で表すと $\vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{\boxed{\text{イ}} - x^2}{\boxed{\text{ウ}}}$ である。

(2) $AD = x$ を用いると、 x は3次方程式 $x^3 - \boxed{\text{エ}} x - \boxed{\text{オ}} = 0$ を満たすことがわかる。

ゆえに、 $x = \frac{\boxed{\text{カ}} + \sqrt{\boxed{\text{キ}}}}{\boxed{\text{ク}}}$ である。

(3) 正五角形の内角の大きさに注目すると $\cos \frac{\pi}{5} = \frac{\boxed{\text{ケ}} + \sqrt{\boxed{\text{コ}}}}{\boxed{\text{サ}}}$ であることがわかる。

したがって、正五角形 ABCDE の面積は $\frac{\sqrt{\boxed{\text{シ}} + \boxed{\text{ス}}} \sqrt{\boxed{\text{セ}}}}{4}$ である。

解答・解説

(1) $BD \parallel AE$ より、 $\overline{BD} = x\vec{b}$ であるから

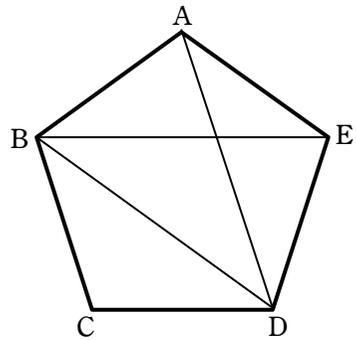
$$\overline{AD} = \overline{AB} + \overline{BD} = 1\vec{a} + x\vec{b}$$

また $\overline{BE} = \overline{AE} - \overline{AB} = \vec{b} - \vec{a}$

$|\vec{a}| = 1$ 、 $|\vec{b}| = 1$ であるから

$$\begin{aligned} |\overline{BE}|^2 &= |\vec{b} - \vec{a}|^2 = |\vec{b}|^2 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} + |\vec{a}|^2 \\ &= 1^2 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} + 1^2 = 2 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} \end{aligned}$$

$|\overline{BE}| = x$ であるから $2 - 2\vec{a} \cdot \vec{b} = x^2 \quad \therefore \vec{a} \cdot \vec{b} = \frac{2 - x^2}{2}$



$$\begin{aligned} (2) \quad |\overline{AD}|^2 &= |\vec{a} + x\vec{b}|^2 = |\vec{a}|^2 + 2x\vec{a} \cdot \vec{b} + x^2|\vec{b}|^2 \\ &= 1^2 + 2x \cdot \frac{2 - x^2}{2} + x^2 \cdot 1^2 = -x^3 + x^2 + 2x + 1 \end{aligned}$$

$AD = x$ であるから $x^2 = -x^3 + x^2 + 2x + 1 \quad \therefore x^3 - 2x - 1 = 0$

よって $(x+1)(x^2 - x - 1) = 0$

$x > 0$ であるから $x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$

(3) 正五角形の1つの内角の大きさは $\frac{5-2}{5}\pi = \frac{3}{5}\pi$

AB=AE より A から BE へ垂線 AH を下すと、H は BE の中点である。

$$\angle BAE = \frac{3}{5}\pi \text{ より } \angle ABE = \frac{\pi}{5} \text{ であるから } \cos \frac{\pi}{5} = \frac{BH}{AB} = \frac{1+\sqrt{5}}{4}$$

$$\text{また } \sin \frac{\pi}{5} = \sqrt{1 - \cos^2 \frac{\pi}{5}} = \sqrt{\frac{5+\sqrt{5}}{8}} = \frac{\sqrt{10+2\sqrt{5}}}{4}$$

以上より、正五角形 ABCDE の面積は

$$\begin{aligned} & \triangle ABE + \triangle BDE + \triangle BCD \\ &= 2 \times \frac{1}{2} \cdot 1 \cdot x \cdot \sin \frac{\pi}{5} + x^2 \cdot \sin \frac{\pi}{5} = (x^2 + 1) \sin \frac{\pi}{5} \\ &= \left\{ \left(\frac{1+\sqrt{5}}{2} \right)^2 + 1 \right\} \cdot \frac{\sqrt{10+2\sqrt{5}}}{4} = \frac{5+\sqrt{5}}{2} \cdot \frac{\sqrt{10+2\sqrt{5}}}{4} \\ &= \frac{\sqrt{(30+10\sqrt{5})(10+2\sqrt{5})}}{8} = \frac{\sqrt{4^2(25+10\sqrt{5})}}{16} = \frac{\sqrt{25+10\sqrt{5}}}{4} \end{aligned}$$

別解1

正五角形の対角線は、本解答のようにベクトルを用いるよりも、図形的に求める方が楽です。
特に**トレミーの定理**を用いた求め方がおすすめです。

正五角形 OABCD は円に内接するから、四角形 OABC も円に内接する。

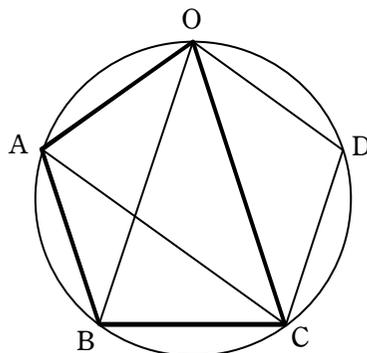
OA=AB=BC=1, OB=OC=AC=x であるから、

トレミーの定理により

$$OB \times AC = OA \times BC + AB \times OC$$

$$x^2 = 1 \cdot x + 1 \cdot 1 \quad \therefore x^2 - x - 1 = 0$$

$$x > 0 \text{ であるから } x = \frac{1+\sqrt{5}}{2}$$



別解 2

正五角形が円に内接することを利用すれば、円周角の定理により等しい角が多く発見できるため、**三角形の相似**を用いることもできます。

対角線 OB , AD の交点を P とする。

正五角形 $OABCD$ は円に内接する。

$AB = BC = DO = CD$ であるから、

円周角の定理により

$$\angle AOB = \angle BDC,$$

$$\angle OAD = \angle DBC$$

よって $\triangle POA \sim \triangle CDB$ であるから

$$PO : OA = CD : DB \quad \dots\dots \textcircled{1}$$

また、 $OB \parallel CD$, $AD \parallel BC$, $CB = CD = 1$ より、

四角形 $PBCD$ はひし形であるから

$$OP = OB - PB = x - 1$$

したがって $\textcircled{1}$ より

$$x - 1 : 1 = 1 : x$$

$$x(x - 1) = 1 \quad \therefore x^2 - x - 1 = 0$$

$$x > 1 \text{ であるから } x = \frac{1 + \sqrt{5}}{2}$$

